

令和4年度

事業計画書

社会福祉法人御前崎市社会福祉協議会

1. 背景

我が国では、平成 20 年の人口ピークを境に年々人口減少が進んできています。人口減少社会が進むにつれて少子高齢化も大きな問題となっており、65 歳以上の高齢者が 29%以上となり、さらに 75 歳以上の超高齢者は 15%まで達しています。加えて産業構造の変化により非正規労働者が増加する中、共働き世帯の増加やライフスタイルの多様化と核家族化の進行により、家庭内の扶養や地域での相互扶助が低下したことから、高齢者の孤独死、地域からの孤立、子育てに悩む保護者の孤立、児童や高齢者、障がい者に対する虐待や自殺者の増加などの他、ひきこもり状態の長期化や子育てと介護のダブルケアの問題など、新たな問題も多く発生しています。

近年、地域の絆の大切さが再認識され、地域コミュニティを重視する意識が高まるなど、日常から顔の見える関係づくりが求められています。このような状況の中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、福祉制度によるサービスだけでなく、地域での人と人とのつながりを大切に、お互いに助け、助けられる相互の関係づくりが必要です。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大が進むにつれ、生活スタイルに大きな変化が起こり、さらに人と人の交流が減少しました。これに伴いコミュニケーションの希薄が進んでいます。このような時こそ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりが生きがいを持ち暮らせる社会を地域とともに創っていく社会を進めていきます。

2. 基本方針

御前崎市では、2025 年度までの 10 年間「子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎」を将来像とし、その実現のための人口減少に歯止めをかける基本目標を設定した「第 2 次御前崎市総合計画」により、まちづくりに取り組んでいます。

令和 3 年度からスタートした、「第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」は、“お互いに支え合い、みんながしあわせ と感じる地域(まち)”を基本理念として進めております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和 3 年度に事業の中止及び縮小を余儀なくされた事業を中心に強化を進めるとともに地域共生社会及び基本理念の実現に向けて努めて参ります。

加えて、本会の 3 大事業であります追悼式・祈念式典、ふれあい広場及び社会福祉大会は、事業が風化しないように通常開催できるよう取り組んでまいります。

また、令和 4 年度からスタートします子育て支援センターでは、気軽に相談できる環境やイベント等を開催することで多くの親子が利用する憩いの場を提供し、子育て支援の充実を図って参ります。

3. 計画の体系

[基本理念]

[基本目標]

[施策の方向性]

[取り組みの方向性]



4 実施事業

基本目標 1 お互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり

(★：共同募金による配分金事業)

施策の方向性	主な取組み	事業内容	令和4年度目標
(1) 市民が主役になる小地域福祉活動の推進・支援	①身近な地域での交流活動の推進	ささえあいサポーター事業	事業の周知を徹底し、支援を必要とする方の登録を増やす 登録利用者数 90人 サポーター登録者数 90人
		(★)小地域福祉活動助成事業	事業を周知し、助成をすることで地域小地域活動を支援する
		小地域福祉活動 (居場所・サロン・生活支援サービスなど)の推進	活動しているところに出向き、問題点や課題を聞くことで継続、更なる活動ができるよう支援
	②市社協の基盤強化及び支部社協活動の充実	自主財源の検討	既存の自主財源事業に対する利益率の分析及び設定金額の評価、実現可能な新規事業の検討
		(★)支部社協事業の推進	各支部社協が主体となつて地域課題を解決することができるよう情報等を共有し共に考えていく
		社協一般会員の募集	若い世代への呼びかけ、班外世帯への周知をするため、児童館利用者、各種会合へ出向きPR
		社協特別会員の募集	職員一丸となつて企業訪問し、特別会費の必要性、用途を理解してもらい、新会員の増加
	③住民ニーズの把握・対応の充実	福祉懇談会の開催	各支部社協で1回以上開催。テーマや講師等アドバイスをする
		支部社協事業など、地域活動への社協職員の参加	支部事業等へ目的意識を持って参加する、住民が抱えるニーズや問題の把握をし他機関等にも繋げていく
	(2) 福祉関係団体(福祉団体・当事者団体・ボランティア団体)への支援	①地域における支え合いの仕組みの充実	福祉団体連絡会の開催
(★)福祉関係団体への協力支援			各福祉団体が目的達成及び課題解決を主体的に実施できるよう、平時から連携を密にし、事務局として支援
②福祉関係団体の抱える課題の把握及び支援		社会福祉法人等による公益事業に向けての情報交換会の開催	1回開催
③福祉関係団体と市民・学校・福祉施設などの連携・協働の支援		関係機関とのネットワークづくり	既存の多機関連携会議へ参加し、顔の見える関係を作る。また、市内外の各関係機関の情報を職員内で共有する
		地域福祉教育担当者連絡会	1回以上開催

施策の方向性	主な取組み	事業内容	令和4年度目標
(3) 災害時等の支援や防犯体制の強化	①防災・防犯活動への支援	社協災害対策本部の設置	設置要綱に基づいた設置訓練を実施(年2回)
		災害ボランティア本部立上げ訓練	総合防災訓練の1つに組み込み実施
	②災害ボランティア本部の体制強化	災害ボランティアコーディネーター養成講座	災害ボランティアコーディネーター登録者数50人
		総合防災訓練及び地域防災訓練などへの参加	市危機管理課、方面隊及び自主防災会と連携し参加
		行政・災害支援ネットワーク・社協連携連絡会	年2回開催
		災害ボランティアコーディネーター連絡会	年2回開催

基本目標2 市民一人ひとりが積極的に地域福祉に参加するまちづくり
 (★：共同募金による配分金事業)

施策の方向性	主な取組み	事業内容	令和4年度目標
(1) 支え合う心を育むための地域福祉教育の推進・支援	①地域における学び場づくり	(★)地域福祉教育出前講座	3回実施
		中学生・高校生夏休みボランティア体験活動	コロナ禍を考慮した事業の実施
	②地域や学校での地域福祉教育の充実	地域福祉教育の展開	市内小学校等で実施
		(★)地域福祉教育指定校事業	市内小中高へ助成
(2) 多くの市民の地域福祉活動への参加の促進	①ボランティア活動・市民活動への支援	ボランティアコーディネーター事業	ボランティア案内数 35件
		個人ボランティア登録制度の推進	個人ボランティア登録者 80人
		ファミリー・サポート・センター事業	子育て世帯への支援を継続実施
		講習会	事業実施要綱に基き、数日に分け、年に1度提供会員養成講習会の実施
		ファミサポPR	2カ月健診時(毎月1回) 年1回地区に出向いて提供会員募集を周知する
		交流会	年1回実施
		ファミサポ通信の発行	ファミサポだより年2回発行(夏・冬)
	②ボランティア活動・市民活動への参加のきっかけづくり	ボランティア活動に対する情報発信	社協だよりでの情報発信
		ふれあい広場	コロナ禍を考慮した事業の実施 子育て世帯も来場しやすい取り組みの充実
		精神障がいを抱える方を支えるボランティア養成講座(ぽかぽか交流会)	養成講座受講者 10人
		赤い羽根共同募金運動への協力	継続実施 地域福祉活動の支援及び誰もが安心して暮らせるまちづくりを目標に実施
		一般募金	募金額 4,000,000円
		歳末たすけあい募金	募金額 2,300,000円
		ボランティア団体助成事業	申請団体4団体以上

施策の方向性	主な取組み	事業内容	令和4年度目標
(2) 多くの市民の地域福祉活動への参加の促進	②ボランティア活動・市民活動への参加のきっかけづくり	日赤御前崎市地区事業の推進	各地で災害が発生した時の義援金の協力依頼、献血の推進
		一般社費の募集	日赤会費の納入依頼（特に班外世帯への協力依頼）
		高額社費の募集	日赤奉仕団員による企業、法人訪問
		日赤有功会御前崎市会の推進	有功会の在り方を会員全員の意見を聞き検討していく
		青少年赤十字の推進	献血PR（年2回）、災害救助募金活動
(3) 地域福祉を身近に感じるための啓発活動の推進	①福祉講座・福祉啓発事業の充実	(★)社会福祉大会	令和5年2月18日（土） 御前崎市文化会館で実施予定
		御前崎市戦没者追悼式	令和4年8月15日（月） 御前崎市市民会館で実施予定
	②地域福祉に関する情報発信の充実	「おまえざき社協だよりの発行」	設置場所数 32か所、年5回発行
		ホームページやSNSによる情報発信	令和3年度に新設したホームページを充実させる。

基本目標3 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 (★：共同募金による配分金事業)

施策の方向性	主な取組み	事業内容	令和4年度目標
(1) 困った時に気軽に相談できる包括的な相談支援体制の充実	①市民にわかりやすく、気軽に相談できる窓口の充実	福祉総合相談所の開設	断らない相談体制、相談しやすい対応をする。
		弁護士司法書士心配ごと相談	市民が抱えている問題解決の支援 市外の方の対応実施 毎月2回開催
		ひきこもり・不登校支援相談室	月1回開催
		ひきこもり・不登校支援検討会	年1回開催
		ひきこもり家族教室・相談会	年1回開催
	②関係機関同士の連携を深める体制の強化	包括的な相談窓口支援体制の充実	行政と連携し、包括的相談支援体制整備に向けた検討を進める。
		生活支援コーディネーター事業	地域で必要としている生活支援の担い手やサービスを開発していく
		第1層協議体生活支援コーディネーター	各地区の第2層生活支援コーディネーターとの連携を強化し、各地区協議体の運営を支援する。
		第2層協議体生活支援コーディネーター	地域のニーズを把握し、コーディネーター同士、各地区協議体との連携を深める。他機関へのつなぎ役ともなる。
	③生活困窮世帯の支援体制の充実	生活困窮者自立支援事業	継続実施、相談件数自立・相談計48件
		自立支援相談事業	事業の周知、相談件数年40件
		家計相談事業	事業の周知、新規相談件数年8件
		生活福祉資金貸付事業	情報提供をする
		小口資金貸付事業	定期的な返済の促し、借受人の返済の徹底
	④権利擁護の推進	法人後見事業	受任案件の安定した支援、受任件数の増加
		日常生活自立支援事業	判断能力が低下している方の権利を擁護し、福祉サービス利用援助等をして自立した生活を支援する
		市民後見人養成講座を修了した方への支援	中核機関設置における広域でのフォローアップ研修の開催

施策の方向性	主な取組み	事業内容	令和4年度目標
(2) 誰もが健康でいきいきと暮らせる仕組みづくり	①自立を支える福祉サービスの充実	介護予防・日常生活支援総合事業	関係機関への周知、依頼（利用者を増やす努力）
		自立支援通所サービス（ひなたぼっこ）	平均利用者数 50人 認知予防など独自のサービス実施
		自立支援訪問サービス	事業内容のあり方を検討
		子育て支援員派遣事業	月に1人以上の利用、支援員の確保
		放課後児童クラブの運営	支援員の確保に努める。手洗い・うがい・マスク着用の徹底を通じ、コロナ感染予防対策を万全にした安全なクラブ運営を継続実施
		子育て支援センターの運営 ※新規事業	就学前の幼児の憩いの場を提供する。また、子育てに不安を抱える親に対し、相談等を行うことで子育てしやすい環境を推進
	②誰もが暮らしやすい環境づくり	浜岡中央児童館・児童図書館事業	幼児や児童の健全な成長及び健康増進を目的とした事業の実施
		パラカンコげきじょう	実施目標 年5回、目標延べ人数年350人 仲間づくり、地域交流、食育、ボランティア体験等の場づくり及び十分なコロナ対策、実施人数の制限を検討
		みーんなあつまれ	実施目標 年12回、目標延べ人数年620人 季節行事、3世代交流、食育等の場づくり 地域資源の活用した経費削減及び十分なコロナ対策、実施人数の制限と内容を検討
		わくわくクラブ(会員制)	実施目標 年11回、会員目標40人 仲間づくり、地域交流、食育、ボランティア体験等の場づくり及び十分なコロナ対策、実施人数の制限を検討
		おはなしこんにちは	実施目標 週2日（午前1回）、1回10人 親子のふれあい、情緒面での発育促進、読み聞かせ習慣の定着等の場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討
		図書・DVDの貸出	実施目標 週5日 親子読書の推進、幼児期からの読書習慣の定着、DVDによる映像を通じた親子のふれあいの促進
		ハッピーキッズ (身体測定・赤ちゃん体操・子育て相談・茶話会)	実施目標 年12回、1回7人 子育て相談、計測、保護者のリフレッシュ、友達づくりの場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討

施策の方向性	主な取組み	事業内容	令和4年度目標
(2) 誰もが健康でいきいきと暮らせる仕組みづくり	②誰もが暮らしやすい環境づくり	(★)高齢者生きがい教室	実施目標 1教室あたり6人、年10回 福祉会館の有効利用、仲間づくり、閉じこもり予防、趣味が継続できる場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討
		高齢者生きがいクラブ	実施目標 クラブ数 22クラブ、 1クラブあたり5人から20人、年12回から24回 福祉会館の有効利用、仲間づくり、閉じこもり予防、新しい趣味の場づくり及び十分なコロナ対策、実施可能な内容を検討
		介護機器貸与事業	該当者に事業を周知及び利用促進
		福祉車両貸出事業	利用回数のべ150回 (前年度比 + 150%)
		はりきゅうマッサージ助成事業	社協だより 年4回 音声告知 年2回
		理美容料金助成事業	社協だより 年4回 音声告知 年2回
		(★)障がい者余暇活動支援	活動の周知・内容の見直し、いずれの活動でも5組以上の参加を目指す
		(★)歳末たすけあい事業	誰もが安心して暮らせるまちづくりを目的に実施する。 見舞金の配分方法や対象者の把握について検討
(★)ひとり親家庭入学激励金事業	ひとり親家庭以外の、生活困窮家庭などへの就学支援も検証していく		